

令和4年 運動方針・事業計画

【運動方針】

1 ビルメンテナン스에係る関係諸法令及び税制改正等について、ビルメンテナン스의発展を促進させるため、ビルメンテナン스의利益に資するよう適切な運動を行う。

【事業計画】

- 1 東京協会との連携のもとに、東京都議会自由民主党ビルメンテナン스事業振興政策研究会と協同し、東京都所有の建築物の維持管理について、都が必要な措置等を講じるよう、粘り強い対応を図る。
- 2 入札制度、税制改正、労働諸問題及び障がい者雇用等の諸課題の解決に向け、国会議員、各政党都連への働きかけを行うとともに、全国ビルメンテナン스政治連盟と連携し要求実現のために活動する。
- 3 東京都各種団体協議会・全国ビルメンテナン스政治連盟等との情報交換を行い、共通の課題については、連携して運動を進める。
- 4 東京都議会自由民主党ビルメンテナン스事業振興政策研究会及び国会のビルメンテナン스議員連盟に所属する議員をはじめ、ビルメンテナン스業界の理解者である議員・議員候補者の支援活動を行う。本年は参議院議員選挙の実施が予定されており、ビルメンテナン스議員連盟所属議員を中心に推薦等の応援活動を行う。
- 5 機関紙「東京ビル政連」を年4回発行し、東京政連の活動状況の周知を図る。またホームページにより、ビルメンテナン스に関する行政情報などを迅速かつ的確に会員に情報提供するとともに、会員外へも活動を周知することで会員増を図る。

令和4年収支予算 (令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)

項目	金額	備考
I 収入の総額	30,466,797	
1 前年からの繰越額	16,276,797	
2 本年の収入額	14,190,000	
(1) 機関紙購読料等の事業収入	14,090,000	機関紙購読料毎号 7,500 円、機関紙広告掲載料
(2) その他の収入	100,000	新年賀詞交歓会お祝い、後援会活動費
II 支出の総額	15,310,000	
1 経常経費の合計	2,601,000	
(1) 事務委託諸費	1,822,000	協会への事務委託費用 (月額 151,800 円 × 12 か月)
(2) 備品・消耗品費	317,000	事務用品・パソコン使用料等協会への分担費用 (月額 26,400 円 × 12 か月)
(3) 事務所費等	462,000	賃借料・電話使用料等協会への分担費用 (月額 38,500 円 × 12 か月)
2 政治活動費の合計	12,009,000	
(1) 組織活動費	7,628,000	全政連分担金 4,692,000 円、理事会・評議員会開催費、パーティー券購入等
(2) 選挙関係費	2,150,000	選挙対策費
(3) 広報活動費	2,231,000	機関紙制作費・ホームページ制作費
3 その他の支出	700,000	令和3年会計賦課消費税
翌年への繰越額	15,156,797	

第123回理事会

第17回評議員会の開催を審議

東京ビル政連は2月1日、ビルメンテナン스会館において第123回理事会を開催し、「第17回評議員会の招集」と「令和3年事業報告」「令和3年決算・監査報告」について審議した。

冒頭、梶山龍誠理事長が欠席のため野口博行副理事長が、「新型コロナウイルスではオミクロン株が猛威を振るい、都内の感染者は前週を上回るペースで増加しております。重症者が少ないのは不幸中の幸いですが、感染者や濃厚接触者は自宅待機のため人のやり繰りが大変な所も出てきていると伺っております。皆様の感染対策は万全だと思いが、一人ひとりが感染しないよう更に気を引き締めていただきたい」と要請。

議案については、「2月25日の評議員会開催と、令和3年事業報告及び決算について」と述べ、活発な審議を求めた。

審議事項の第17回評議員会の招集は、野口副理事長が「開催方法については、オミクロン株感染拡大防止の観点から、昨年同様、会場出席、議決権行使書等の提出のほか、Web会議ツールによる出席も可とするとしております。審議事項は、令和3年事業報告及び令和3年決算報告の承認です。令和4年運動方針・事業計画と予算が報告事項となります」と提案説明。高橋誠事務局局長が詳細な説明を行った。

報告事項である「全政連新執行体制と分担金の変更」「1月理事会以降の動きと今後の予定」「会員等の推移」については、高橋事務局局長が説明を行った。

このあと、議長の榎本寛副理事長が意見や質問を求め、梶山理事長が審議事項について補足説明。

採決に移り、宇都隆史議員(全国比例)の応援活動などが提案通り承認された。

報告事項は、「2月理事会以降の動きと今後の予定」と「会員等の推移について」の2つ。ともに高橋事務局局長が説明を行った。

第124回理事会

参院選対応を審議

東京ビル政連は4月5日、ビルメンテナン스会館において第124回理事会を開催し、「第26回参議院議員選挙対応」について審議した。

梶山理事長は冒頭の挨拶で、「まん延防止措置も解除され、少しずつ経済活動が再開するかと思いましたが、ロシア、ウクライナ情勢により、世界経済の先が見えない状況でございます」と現況について言及。「当業界においては、協会、政連が一丸となってこの状況を乗り越えていければと思っております」と考えを示した。審議事項については、「本日は、第26回参議院議員選挙の対応について議論いたします。活発な審議をお願いいたします」と呼びかけた。

審議事項は、横田幹事長が提案説明を担当。

「今年1月に開催した第122回理事会において、全政連の要請に沿って対応することといたしました。このたび宇都隆史議員の応援活動の要請が届きました。対応を

検討するとともに、その他の候補者への対応も検討するため、ご提案をいたします」と前置きをして、全国協会からの要請や、その他の議員からの推薦依頼、対応案について説明を行った。

全国協会からの要請の説明では、本応援活動は選挙の事前運動ではなく、ビルメンテナン스議員連盟の副幹事長である宇都隆史議員の認知と、ビルメン業界発展のために尽力をいただいていることへの理解を深めていただく活動であるとの趣旨に基づく要請の内容や、公示後の禁止事項の説明も行った。

このあと、議長の榎本寛副理事長が意見や質問を求め、梶山理事長が審議事項について補足説明。

採決に移り、宇都隆史議員(全国比例)の応援活動などが提案通り承認された。

報告事項は、「2月理事会以降の動きと今後の予定」と「会員等の推移について」の2つ。ともに高橋事務局局長が説明を行った。

東京ビル政連の動き

- 令和4年1月下旬～4月(1月24日) 令和3年監査
- (2月1日) 第123回理事会
- (2月25日) 第17回評議員会
- (4月5日) 第124回理事会



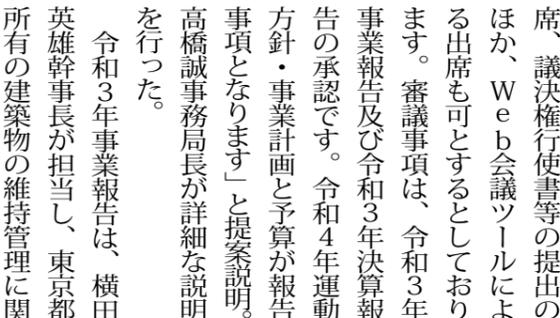
野口副理事長



理事会の様子



横田幹事長



坂野会計責任者



大村監事



梶山理事長